

序

昭和九年九月廿一日關西地方を襲へる颱風は其の風速の大なりし結果、陸上には數多の倒壊家屋を現出すると同時に、海上には高潮、激浪を誘出して海岸地方には大なる災害を齎せり。本所における從來の研究は専ら地震現象と其れに伴屬する災害とを對象として行はれたるものなれども、同じく災害と云ふ見地よりすれば、今回の風水害も同時に攻究すべき性質のものにして、例へば如何に地震動の害を蒙らざる建築物なりと雖も、颱風に對して倒壊する場合に於ては意味を爲さざるものなれば、斯かる機會に於て兩者共併せて研究すべき必要を痛感したる次第なり。又海上における高潮、激浪も地震津浪と比較すべき現象にして、其の本性に對し又其の齎せる災害に對して注意すべきは勿論なりとす。

以上の意味を以て本所は風水害の直後數名の所員を現地に派遣し上記の趣旨を以て調査研究に従事せり。従つて本冊に掲載する所も颱風全般に亘る調査研究に非ず、地震及び津浪現象と密接に關係する部分に主點を置きて得たる結果なる事を充分諒察され度し。なほ本報告の印刷刊行に關しては服部報公會の多大なる援助を得たるものに就き、茲に深甚の謝意を表するものなり。

昭和十年五月

地震研究所長

昭和10年5月25日印刷
昭和10年5月30日發行

編輯兼
發行者 東京帝國大學地震研究所

東京帝國大學農學部內
印刷者 米 田 眞 二

東京帝國大學農學部構內
印刷所 日本農藝化學會印刷部

東京市神田區一ツ橋通町
賣捌所 岩 波 書 店

Sold by

Iwanami Shoten,

Hitotubasi dôri, Kanda, Tôkyô.

Price of this copy: 3.10 Yen. (Postage exclusive.)